

「マイクロソフトフライトシミュレータ2004 翼の創世紀」 マルチプレイに挑戦！ その②

前回に引き続き、フライトシミュレータの楽しみ方第5回はマルチプレイについて解説しましょう。マルチプレイの楽しみ方は前回でも解説したとおり、友人や仲間とともにフライトが楽しめることです。さらにマルチプレイでは本格的な航空管制を受けることも可能になります。今回はこの本格的な航空管制を受けて飛行するマルチプレイの方法をお教えしましょう。



本格的な航空管制を受けることが可能なマルチプレイヤーを持つ団体は世界各国にいくつもあります。その中でも最大規模と云われ、日本にも支部をもつVATSI-M (<http://vatsim.net/>)を中心にお話を進めていきます。

VATSI-Mはアメリカを中心に、イギリス・ギリシャ・ポルトガル・オーストラリア・ブラジル・香港などにサーバーを持ち、支部はそれらの国の他にロシア・カナダ・南アメリカ・メキシコなどにもあります。また、アジア地区では日本他に韓国・台湾にも支部があり、それぞれのメンバーが活動しています。

VATSI-Mでは基本的に国際的な航空法で決められている航空管制ルールに則って航空管制を行っています。VATSI-Mに登録し、インターネットを介してマルチプレイ接続をすると、あなたのフライトシミュレータは世界各国で現地の人による航空管制を受けることが可能になります。接続にはSquadBoxというソフトや、FS2004ではいくつかの特別なソフトが必要になります。これらのソフトに関しては次号で詳しく解説しますので期待ください。VATSI-Mでは航空管制をすることもできますが、管制官をするにはVATSI-M公認の資格が必要となります。厳格な航空管制ルールで行われるゲームですから、管

制官にもそれなりの知識が要求されるのです。しかし、心配はいりません。日本にも管制官資格を持ったメンバーが数多くいます。その諸先輩方が質問に答えてくれる掲示板もありますから興味のある方は是非参加をしてみたいかがでしょう。まずはパイロットならば資格が必要ありませんから、気軽に参加されてはいかがでしょう？

VATSI-Mの日本支部は <http://www.vatjp.org/> にあります。ここには日本語ページが用意されていて、わかりやすく登録や接続の方法が解説されています。参加をするならばまずはこのページを訪れてください。気軽に書き込みができる掲示板やニュースなどもあり、内容は盛りだくさんです。フライトシミュレータに関する情報も満載で、見るだけでもフライトシミュレータファンにはうれしくなる内容です。

次回は具体的な接続方法やそれを紹介したホームページの案内を中心に解説します。